

(有)静岡健康企画 ことぶき薬局 TEL055(977)6024 たまち薬局 TEL054(251)1678
ひまわり薬局 TEL053(463)4312 みかん薬局 TEL053(584)2230

新型インフルエンザの話

新型インフルエンザの流行

Q：新型インフルエンザとは何ですか

A：インフルエンザウイルスの性質が変わる（変異する）ことによって、これまでに、ヒトに感染しなかったインフルエンザウイルスが、ヒトへ感染するようになり、そしてさらにはヒトからヒトへ感染するようになります。この変異したインフルエンザウイルスのことを新型インフルエンザウイルスといい、そのウイルスによって起こるインフルエンザを新型インフルエンザといいます。

Q：なぜ、新型インフルエンザの世界的流行（パンデミック）の可能性が指摘されているのですか。

A：新型インフルエンザがもし発生した場合、基本的にすべての人々は、そのウイルスに対して抵抗力（免疫）をもたないため、新型インフルエンザはヒトの間で、広範にかつ急速に拡がると考えられます。この世界的流行をパンデミックといいます。

鳥インフルエンザと新型インフルエンザ

Q：鳥インフルエンザ、高病原性鳥インフルエンザとはどのような病気ですか。

A：インフルエンザウイルスは、自然界においてカモ、アヒルなどの水鳥を中心とした多くの鳥類に感染します。それを鳥インフルエンザといいます。また、鳥インフルエンザのなかでも、ニワトリ、カモなどが死亡してしまう重篤な症状をきたすものを高病原性鳥インフルエンザといいます。

Q：鶏肉や鶏卵を食べて、鳥インフルエンザに感染することはありますか。

鳥インフルエンザについては、これまで、鶏肉や鶏卵を食べることによって、ヒトに感染したという事例の報告はありません。このため、食品衛生の観点からは、鶏卵や鶏肉について特段の措置は必要ないものと考えられます。

予防と対応

Q：通常のインフルエンザの予防接種は、新型インフルエンザに効果がありますか

A：新型インフルエンザのヒト - ヒト感染が起きた場合、予防手段として直ちに使用できるワクチンは現時点ではありませんが、新型インフルエンザのウイルスに対して効果を発揮するワクチンの早期実用化に向けた開発努力が、日本を含め世界の各国で展開されています。

Q：新型インフルエンザの予防はどうしたらよいのですか。

A：通常のインフルエンザは、感染した人の咳、くしゃみ、つばなどの飛沫とともに放出されたウイルスを吸入することによって感染します。そのため、外出後のうがいや手洗い、マスクの着用、流行地への渡航、人混みや繁華街への外出を控えることが重要です。

参考：厚生労働省 新型インフルエンザ対策関連情報

【ご存知ですか？ ~ジェネリック医薬品~】

4月からの診療報酬改定で、医師の確認があれば、患者さんと薬剤師が相談して安価なジェネリック医薬品への変更が可能となります。私達の薬局では、患者負担軽減を目的に、積極的にジェネリック医薬品使用につとめてきました。これからもジェネリック医薬品でご不明な点は、なんでもご相談ください。

薬害イレッサ訴訟のことをご存知ですか？

この裁判は、製薬会社のアストラゼネガ株式会社から発売された肺がん治療薬『イレッサ』によって起こった副作用の被害の賠償を、国とアストラゼネガ社に求めるものです。静岡民医連では、皆様にこの裁判がどのようなものなのか知っていただく活動をしていきたいと考えています。

Q．イレッサってどことなくすり？

A．非小細胞肺がんという肺がん用の薬として 2002 年 7 月 5 日に国の承認を受け、8 月 30 日に保険で使える薬になりました。

日本には欧米に比べて抗がん剤の数が少な過ぎるという背景もあり、副作用が少なく、効果は高い「夢の新薬」などと紹介され救世主的に登場しました。

Q．イレッサって本当に良く効くの？

A．確かに現在飲んでいる人で効果のあった人もいます。しかしこれまで何度もイレッサの臨床試験（薬の効果を確かめるための試験）が行なわれてきましたが、イレッサを飲んだ人が、飲んでいない人に比べて長く生きたという結果は一度も得られていません。そのため欧米では発売されていません。

Q．イレッサの副作用ってどんなもの？

A．イレッサは最初副作用が少ないと言われていました。しかし大変重い副作用が現れることがあることがわかってきました。その副作用は、急性肺障害、間質性肺炎など肺の病気で、特に間質性肺炎は肺の組織が潰れて呼吸がしにくくなってしまうもので、その半分近くの方が亡くなってしまっています。発売開始からわずか 3 年で少なくとも 607 名の方がなくなっています。

Q．この訴訟はどんなもの？

A．イレッサの副作用による被害の賠償を国と、製薬会社のアストラゼネガ社に求めるものです。お薬の説明書に間質性肺炎などの重い副作用のことや動物実験で肺毒性があったこと、海外での副作用症例報告などの記載が当初載っていなかったことや、臨床試験の報告について見直しがきちんとされていたのかなど、国や製薬会社に対して責任を明らかにしようとするものです。

今後も薬害イレッサ、薬害肝炎などについてお伝えしたいと考えております。

『薬害肝炎九州訴訟結審』

汚染された血液製剤でC型肝炎に感染したとして、27人が国と製薬会社の三菱ウェルファーマ（旧ミドリ十字）などに損害賠償を求めた薬害肝炎九州訴訟の口頭弁論が2月22日、福岡地裁であり、原告18人分の審理が結審しました。原告側は「金もうけのために作られ、しかも効かない薬で肝炎になった。人としての尊厳を回復してほしい」と述べました。一方、国は一切の過失・責任が無いことをあらためて陳述。今回あらたに、メーカーが患者に見舞金を出し、情報を隠ぺいしていたことなども発覚しました。

判決は8月30日に言い渡されます。